

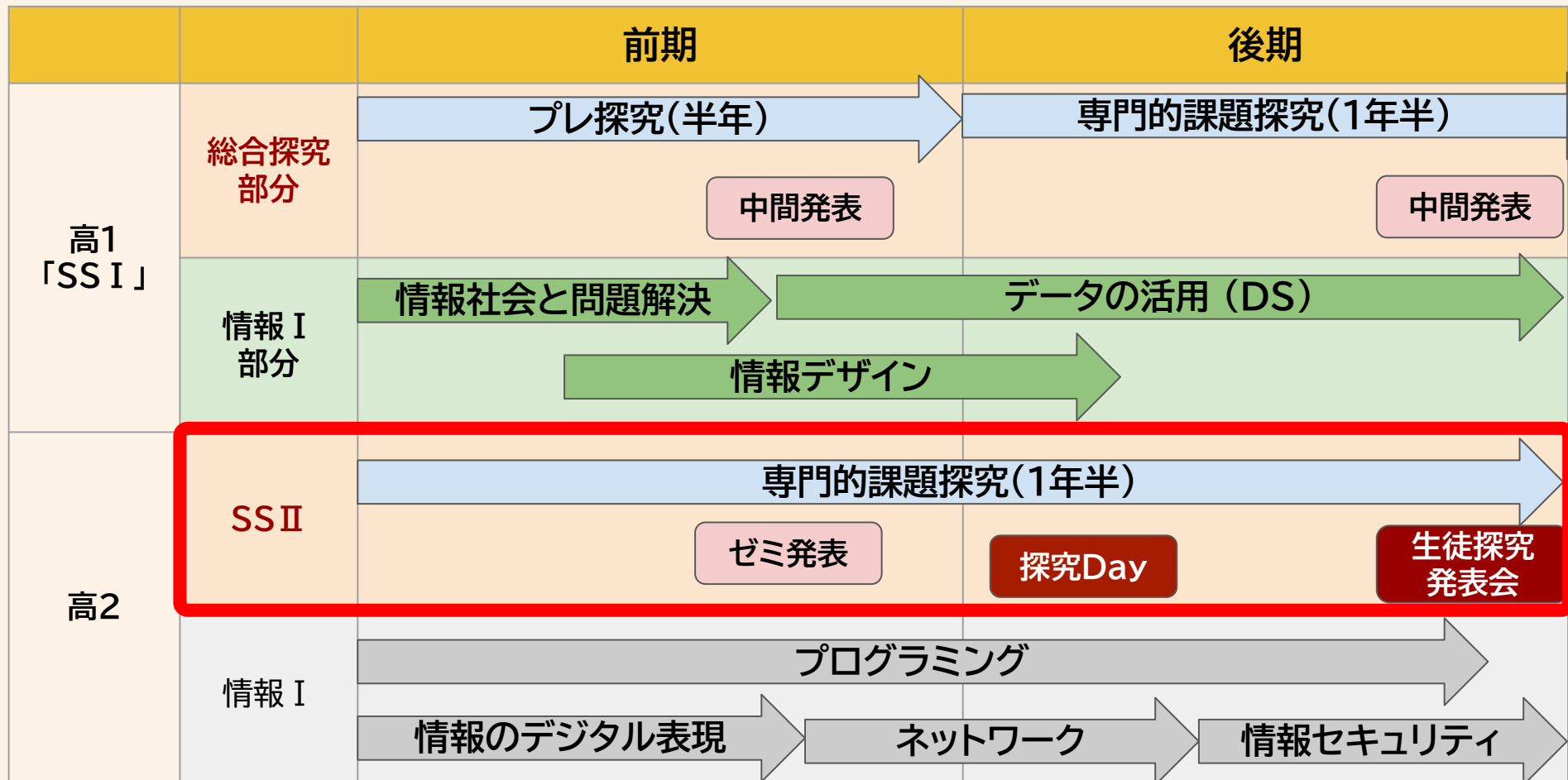
2026年度 SSH特設科目「SSII」

【第2回】 研究計画の精査と リサーチクエスチョンの検証

2026年4月23日（木）



高1・高2 年間計画 全体像



専門的課題研究のイメージ

STEP1

研究テーマを決める

STEP2

リサーチクエスチョンを導く

STEP3

仮説を立てる

STEP4

適切な研究方法を選ぶ

中間目標

研究計画書を作成する

STEP5

調査・実験を実施する

STEP6

結果をまとめて考察し、結論を導く

STEP7

研究内容をまとめ、発表する

より高次のRQへ

高1
中間発表

探究
Day

生徒探究
発表会

step1

振り返り

step7

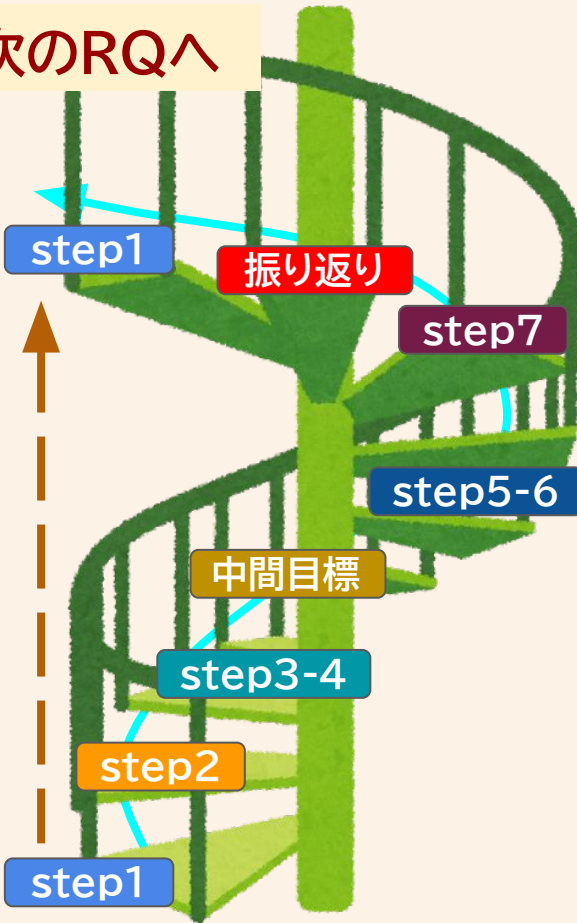
step5-6

中間目標

step3-4

step2

step1



研究を進めるうえで心がけるべきこと

1. 「課題研究メソッド」を持参し、積極的に参照
感覚ではなくメソッドに沿った研究活動を
2. スケジュール管理の徹底
発表に向けた資料の準備 期日の厳守
3. 指導教員への報告・連絡・相談を確実に
特にメールの確認と誠実な返信(作法を守ることは最低限)
4. ガイドラインに沿ったアンケート実施
5. 対話型生成AIの適切な活用

「探究ノート」への記録を！

Classroom 「【全般】 探究ノート」

高校46期 SS I・II (総合探究)		探究ノート					
チーム番号		クラス	1 -	番号		氏名	
共同研究者							
↑ チームメンバー全員の組番号と氏名を記載 (例: 640 芝浦 太郎 710 柏 花子)							
【日々の活動記録】 (①を授業開始時に、②③を授業終了時に記入)							
日付	活動記録 ①今日の予定・目標 ②本日の活動内容 ③次に行うこと、次までに行うこと						
10/23	①今日の予定・目標 ②今日行ったこと ③次に行うこと、次までに行うこと						
10/30	①今日の予定・目標 ②今日行ったこと ③次に行うこと、次までに行うこと						
11/13	①今日の予定・目標 ②今日行ったこと ③次に行うこと、次までに行うこと						
11/20	①今日の予定・目標 ②今日行ったこと ③次に行うこと、次までに行うこと						
11/27	①今日の予定・目標 ②今日行ったこと ③次に行うこと、次までに行うこと						
12/4	①今日の予定・目標 ②今日行ったこと ③次に行うこと、次までに行うこと						

★作成のポイント★

毎回、**活動記録**は必ず書く！

①今日の予定・目標

授業開始時

②本日の活動内容

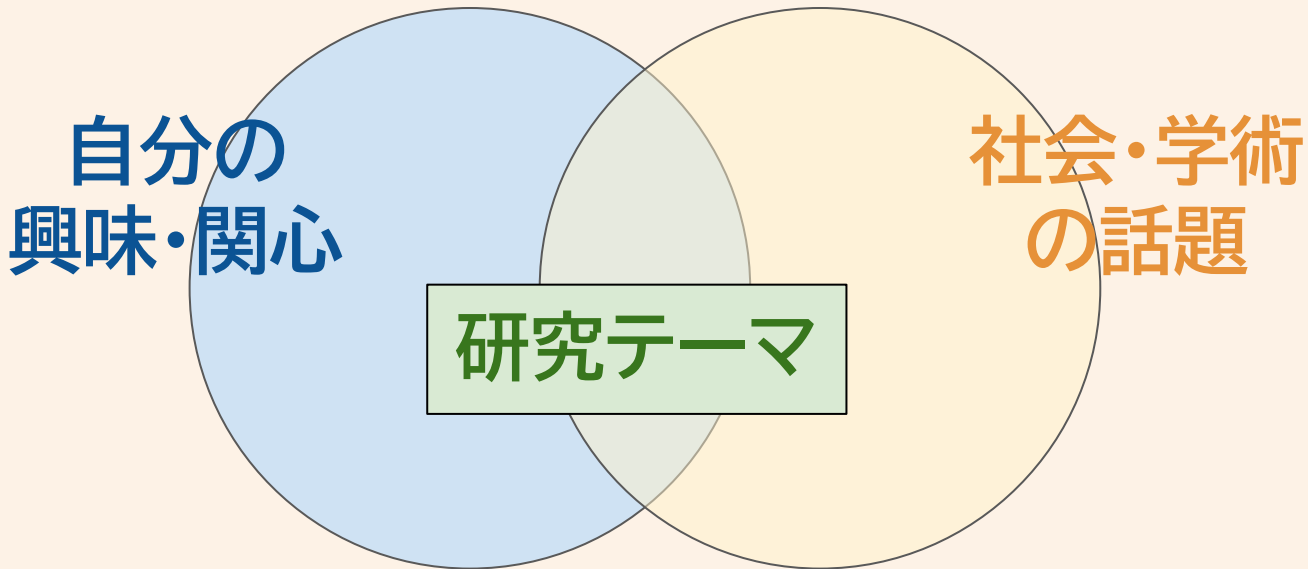
授業終了
5分前

③次に行うこと

個人でまとめるワークシートで、
その他の使い方は自由です。

【STEP1】 研究テーマ

- ★「何に焦点を当てて研究を行うか」を示すもの
- ★「〇〇について研究する」の「〇〇」に相当する部分

[illegible]

【STEP1】 テーマ設定のポイント

- ❑ 興味・関心との関連があるか？
- ❑ 社会的な課題もしくは学術分野との関連を見出せているか？
- ❑ 抽象的で広くとらえられるような言葉を具体的な文言に言い換えられているか？
- ❑ 研究テーマで取り上げた課題の現状について、客観的なデータを収集し、理解できているか？
- ❑ 社会科学系の研究の場合：
 - 関連する制度や法律、歴史的背景を理解しているか？
- ❑ 自然科学系の研究の場合：
 - 関連する原理や原則、理論(定理など)を理解しているか？

【STEP2】 問いとリサーチクエスチョン

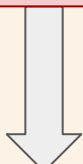
《 課題研究 》

まだ答えの分かっていない「**問い**」に取り組む。

研究テーマ



問い



発展

リサーチクエスチョン

何に焦点を当てて研究を行うかを示すもの

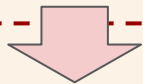
漠然とした疑問を疑問文の形で表したもの

解決すべき本質的な問い(≡ issue)

研究全体で明らかにしたいこと

【STEP1】 先行研究を調べる

先人たちが行った研究の諸業績をふまえる。



先行研究

自分が行おうとしている
研究テーマと同じ分野で
先に発表されている研究



文献



インターネット



論文

(2) 先行研究を調べてみよう

☆ 参考になりそうな資料(論文・報告書・記事など)の書誌情報とリンクを貼っておこう！

[CiNii Articles]

主に日本で出版された学術論文や図書、雑誌に関する学術情報データベース。日本の大学の博士論文、大学図書館の収蔵図書についても検索ができる。日本(語)に特化した内容を調べる場合は、非常に有効である。

[Google Scholar]

学術専門誌や論文、書籍、要約など、さまざまな分野の学術資料を検索できるサービス。手軽に使用できるので、多くの研究者が利用している。対応言語も多い。

他に、特許も含めて検索できるJ-GLOBAL、様々な分野から検索できるJ-STAGE(J-STAGE)、また官公庁などが公表している報告書などがある。
いずれも、オンラインアクセスできる文献は限られているので注意すること。

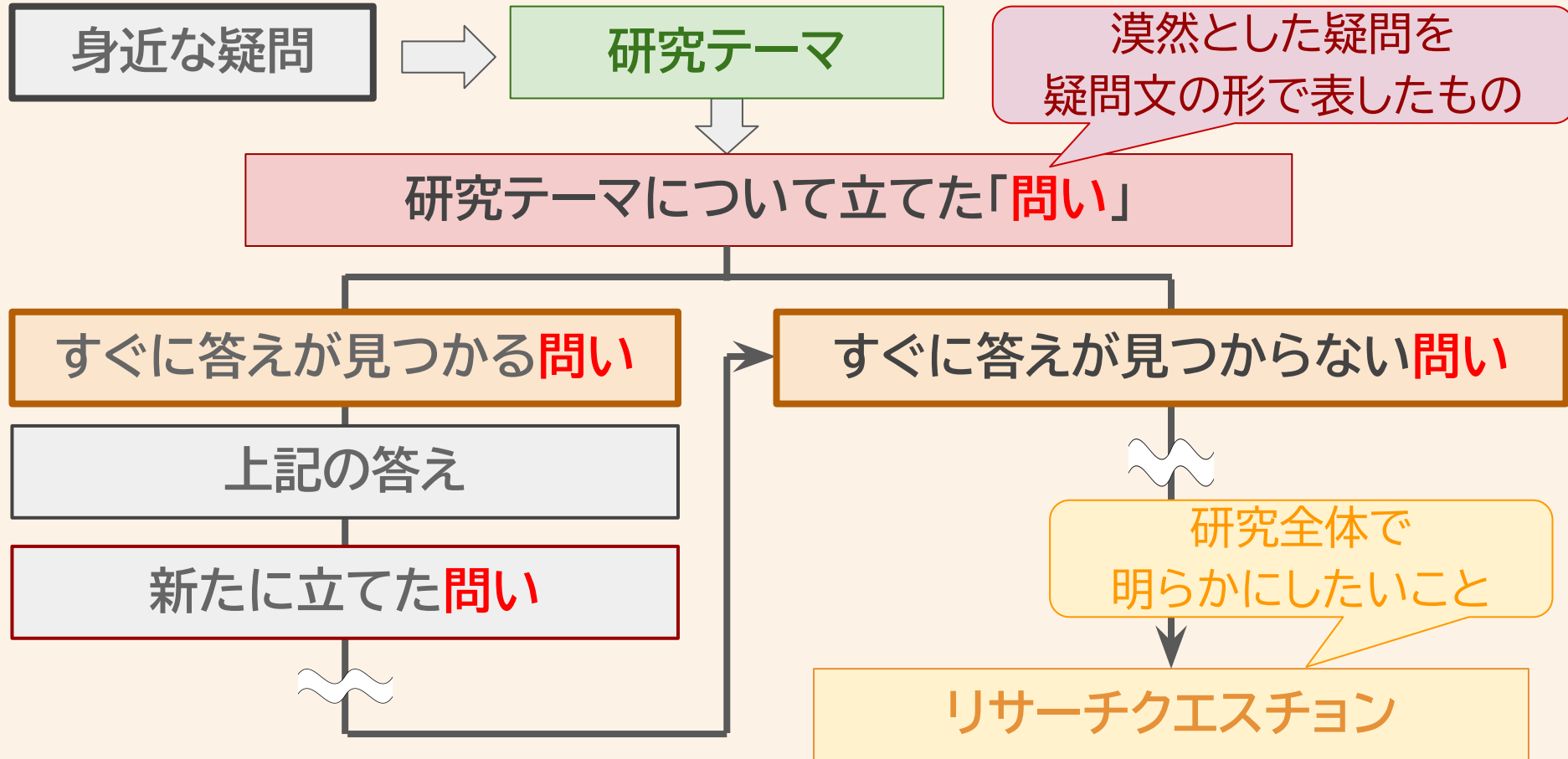
- ① 書誌情報(作者・タイトル・書誌情報) ② リンク(参考にしたWebページのURLなど)
③ 上記の資料に書かれている内容について簡潔にまとめよう。

例	①書誌情報	剣持武彦 「夏目漱石『草枕』とロレンス・スターン『トリストラム・シャンディの生活と意見』」 『清泉女子大学紀要』
	②リンク	https://seisen.repo.nii.ac.jp/?action=repository_uri&item_id=280&file_id=18&file_no=1
	③内容	イギリス留学を経た夏目漱石が英文学の知見を踏まえてどのような文学作品を創作したか。
1	①書誌情報	
	②リンク	
	③内容	

【STEP2】 問いを立てる

問いの種類	問い
言葉の意味や定義を問う「問い」	〇〇の意味は？ 〇〇の定義は？
原因(なぜ)を問う「問い」	なぜ〇〇は生じているのか？
信憑性を問う「問い」	〇〇は本当に生じているのか？
比較を行う「問い」	● 過去にくらべて、〇〇はどのように変化しているのか？ ● 〇〇はどの程度進んでいるのか？ ● 他国ではどれくらい〇〇が進んでいるのか？ ● ほかの物質や異なる条件ではどのようなになるのか？

【STEP2】 「問い」を発展させる



【STEP2】 リサーチクエスチョンの導出

リサーチクエスチョン

「課題研究全体で
明らかにしていきたい問い」

「問い」を多面的に検証し、
分解してみよう！

リサーチクエスチョンとして
適切かどうかを検証！

(4) 先行研究を踏まえて、立てた問いからリサーチクエスチョンを導出してみよう！

★「リサーチクエスチョン」とは → 「問い」の発展：「課題研究全体で明らかにしていきたい問い」
「すぐに解決できる問い」ではなく、
仮説を立てて、それを検証していくことで明らかにしていきたい問いである。
→ 「問い」を多面的に検証し、分解してみよう！

【研究テーマの検証・先行研究調査のポイント】

- ☐ 興味・関心との関連があるか？
- ☐ 社会的な課題もしくは学術分野との関連が見込めているか？
- ☐ 抽象的で広くとらえられるような言葉を具体的な文言に言い換えられているか？
- ☐ 研究テーマで取り上げた課題の現状について、客観的なデータを収集し、理解できているか？
- ☐ 社会科学系：関連する生徒や法律、歴史的背景を理解しているか？
- ☐ 自然科学系：関連する原理や原則、理論(定理など)を理解しているか？

【リサーチクエスチョン検証のポイント】

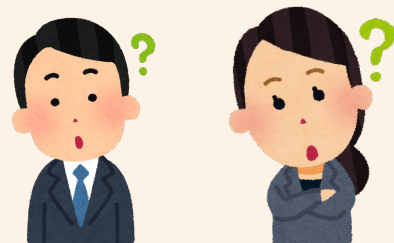
- ☐ リサーチクエスチョンに用いられている言葉の意味や定義を理解しているか？
- ☐ ある問いの答えに対して新たに問いを立てることで、問いを発展させられているか？
- ☐ 先行研究や事例から、そのリサーチクエスチョンに取り組む意義を見出せているか？
- ☐ 「いつ」「どこ」「だれ」など、多面的に検証してリサーチクエスチョンを具体化できているか？
- ☐ 関連する学術分野は何か？
- ☐ 答えがすぐに見つかるリサーチクエスチョンになっていないか？(現状の調べ学習で完結するものになっていないか？)
- ☐ 研究を進めるためには何が必要か？それは準備可能か？
- ☐ 取り組みが可能なリサーチクエスチョンか？

【リサーチクエスチョンの候補】

探究ノート(4)

【STEP2】 リサーチクエスチョンの導出

- ❑ リサーチクエスチョンに用いられている言葉の意味や定義を理解しているか？
- ❑ ある問いの答えに対して新たに問いを立てることで、**問いを発展**させられているか？
- ❑ 先行研究や事例から、そのリサーチクエスチョンに**取り組む意義**を見出せているか？
- ❑ 「いつ」「どこ」「だれ」など、多面的に検証して**リサーチクエスチョンを具体化**できているか？
- ❑ 関連する学術分野は何か？
- ❑ 答えがすぐに見つかるリサーチクエスチョンになっていないか？
- ❑ 研究を進めるためには何が必要か？それは準備可能か？
- ❑ 取り組みが可能なリサーチクエスチョンか？



【STEP3】 仮説を立てる

仮説思考

先行研究調査が大事！

直面する課題に対して、明らかにになっている事柄に基づいて、
最初に「**仮説**」(仮の答え)を立て、
その仮説を**検証・修正**しながら問題解決を図る思考方法

仮説の設定

明らかにになっている
事柄から確からしい
仮説を立てる段階



仮説の検証

調査・実験に基づき、
仮説の正誤を
確認する段階



仮説の修正

仮説に誤りがあると
判明した場合に
それを修正する段階

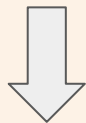
【STEP4】 適切な研究方法を選ぶ

文献調査 (★必須★)	どの研究においても必須。 単なる調べ学習に終わらぬよう、文献を批判的に読むことを心がけよう。
アンケート調査	目的を明示したうえで、得られる結果を想定しつつ、読み手にどう伝わるかを踏まえて綿密に練ろう。
インタビュー調査	事前に質問事項を練って、必要な情報を得られるようにしよう。アポを取る際には失礼のないように。
現地調査	長期休みなどを利用して事前に計画を立てて実施しよう。
シミュレーション	主に自然科学分野で行われる。 コンピュータを利用したシミュレーションで実験の代替が可能かどうか考えてみよう。

【STEP2-4】 これまでの内容を整理

研究全体で明らかにしたいこと

リサーチクエスチョン



仮説立案



仮説の検証方法の考察

探究ノート(5)

リサーチクエスチョン	
仮説①	仮説②
仮説を立てた根拠①	仮説を立てた根拠②
仮説を検証する方法①	仮説を検証する方法②

【中間目標】「研究計画」をまとめる

整理してまとめていこう！

高校45期 SS I (総合探究)		研究計画書兼報告書
チーム番号		研究者氏名
※チームメンバー全員の名前を記入		
具体的な研究手法の計画・実施・まとめを記録するシートです。一つの研究計画の実施が終わったあとで、さらに新しい研究計画を実施する場合には、その都度、このシートに記入します。		
(1) 研究テーマ		
(2) 研究背景		
(3) 研究目的		
①リサーチクエスション		
②リサーチメソッド		
③リサーチ結果		
④リサーチ考察		
⑤リサーチ結論		
⑥リサーチ評価		
⑦リサーチ展望		
⑧リサーチ参考文献		
⑨リサーチ参考文献		
⑩リサーチ参考文献		
⑪リサーチ参考文献		
⑫リサーチ参考文献		
⑬リサーチ参考文献		
⑭リサーチ参考文献		
⑮リサーチ参考文献		
⑯リサーチ参考文献		
⑰リサーチ参考文献		
⑱リサーチ参考文献		
⑲リサーチ参考文献		
⑳リサーチ参考文献		
㉑リサーチ参考文献		
㉒リサーチ参考文献		
㉓リサーチ参考文献		
㉔リサーチ参考文献		
㉕リサーチ参考文献		
㉖リサーチ参考文献		
㉗リサーチ参考文献		
㉘リサーチ参考文献		
㉙リサーチ参考文献		
㉚リサーチ参考文献		
㉛リサーチ参考文献		
㉜リサーチ参考文献		
㉝リサーチ参考文献		
㉞リサーチ参考文献		
㉟リサーチ参考文献		
㊱リサーチ参考文献		
㊲リサーチ参考文献		
㊳リサーチ参考文献		
㊴リサーチ参考文献		
㊵リサーチ参考文献		
㊶リサーチ参考文献		
㊷リサーチ参考文献		
㊸リサーチ参考文献		
㊹リサーチ参考文献		
㊺リサーチ参考文献		
㊻リサーチ参考文献		
㊼リサーチ参考文献		
㊽リサーチ参考文献		
㊾リサーチ参考文献		
㊿リサーチ参考文献		

研究計画書
(1)-(4)部分

1チームあたり
1ファイル
(共同編集)

高校45期 SS I (総合探究)	探究ノート
(1) 研究テーマを決めよう！ 【仮テーマ】(チーム編成時に考えていた「メンバーの研究したいことの共通項」) 【仮テーマから連想されるキーワード】※Wikiサーチなどで調べていこう！	探究ノート ！ 【考えていた「メンバーの研究したいことの共通項」] ワード※Wikiサーチなどで調べていこう！
【マインドマップ】仮テーマを中央に、仮テーマから連想されるキーワードのうち8個をその周囲の色付きのマスに	探究ノート う！ 【考えていた「メンバーの研究したいことの共通項」] ワード※Wikiサーチなどで調べていこう！
探究ノート	探究ノート
探究ノート	探究ノート

1人1ファイル(個別編集)

【Step5-6】研究結果 → 考察・結論

自分たちのリサーチクエスチョンに対し、研究を通して得られた結論をまとめる。

(5) 研究結果

文献調査・インタビュー・アンケートの結果得られた事実の要約・整理

(6) 考察・結論

(5)の事実をもとに、それを解釈し、何が分かった・分からなかったのかを述べる。

(5) 研究結果
(研究方法を実施した結果得られた定量的データ、定性的データをまとめます)

(6) 考察・結論
(研究結果のデータに、考察・分析をくわえ、リサーチクエスチョンに照らして、分かったことや分からなかったことをまとめます。)

(7) 今後の展望
(今回の研究計画に、

研究報告書
(5)(6)部分

【Step7】今後の展望

今回の研究計画による結論をふまえ、
今後の展望を述べる。

○ リサーチクエストンに対して 一定の結論が得られたチーム

→ 次に明らかにしたい
新たなリサーチクエストンを導出

● リサーチクエストンに対して 一定の結論が得られなかったチーム

→ 仮説検証の方針の再考
リサーチクエストンの再設定

(5) 研究結果

(研究手法を実施した結果得られた定量的データ、定性的データをまとめます)

(6) 考察・結論

(研究結果のデータに、考察・分析をくわえ、リサーチクエストンに照らして、分かったことや分らなかったことをまとめます。)

研究報告書
(7)部分

(7) 今後の展望

(今回の研究計画による結論をふまえ、次に明らかにしたい新たなリサーチクエストンや、次に行いたい研究内容を書きます)